

小・中・高校生の部

入賞

広島県知事賞

手紙

あなたに

手紙を書きたいと思う時

わたしはひとつのインクなのです

くちびるから

とめどなくあふれるインクをゆびでぬぐって

そのままきゆうつとひっぱってゆく

あなたのもとへとのびてゆく

糸のようにたなびきながら、私に始まる色彩を

風がやわらかに乾かして

それをいくつもたばねたら

ああ言葉

県立広島高等学校三年 古田 弘珠

なんとか編んでみたんです

手紙

あなたのポストに、きっと似合うとおもうんです

眠るころには空っぽになりたい

私はまだ満ちたインクです

広島県議会議長賞

私へ私より

熊野町立熊野東中学校三年 鈴木 七歩

人の心を考えろと難しいことを
簡単そうに言わないでくれ
当たり前かのように言わないでくれ
私

素直になれと
解放してあげるみたいに言わないでくれ
それができたらもうしてよ
私

変わらないといけないなんて
嫌なところばかりみて
良いところは知らないふりなんてやめてくれ
私

正解を追い求め
私を追い詰める

私
何が何だか分からない
それでいいじゃないか

広島県教育委員会賞

修正テープ

ノートに書き間違いを見つけた
ビー。

私はそこに修正テープを引く
書き間違いは見えなくなった
良かった、これで綺麗になった

また書き間違いを見つけた
ビー、ビー。

だからまた修正テープを引く
書き間違いは見えなくなった
良かった、今度も綺麗になった

あ。

これも間違えてたみたい
おかしいな、こっちも間違えてる
そこもあそこも、そっちもこっちも
あのときも

私のノートは間違いだらけ

県立広島中学校三年 二村 陽依

はやく、テープで直さなきゃ
ビー、ビー、ビー、ビー、ビー……
良かった、これで綺麗になった
これで間違いはなくなった

あーあ。

また書き間違えちゃった

でも大丈夫

修正テープを引けば綺麗になるから

……

いつも通りにテープのフタを開けて

ビービー、び。

なのに

え。

ふとテープを引く手が止まった

なに、これ。

なんで今まで気づかなかつたんだろう

いつのまにか私のノートが

テープでいっぱいになっていたことに

間違えて間違えて間違えて間違えて間違えて
修正して修正して修正して修正して修正して

綺麗になんて、なつてなかつたんだ
だつて

ノートの白と修正テープの白は違うから
間違いをいくらごまかしても
なかつたことにはできないの

偽物の白と上書きした文字
ほんとの私はどんなだっけ？
ぺらり。

ページをめくつて裏から透かす
そこにあるのは
テープに隠されていた文字
修正する前のほんとの姿
そつと見てみたそれは

ああ、なんだ。
今よりずつときれいじゃん。

現 代 詩 部 門

けんみん文化祭ひろしま実行委員会会長賞

怪物

消しゴムが襲い掛かる

友達が消されていく

消しカスという涙を残して

新しくできた友達も

すぐに消しゴムの餌食

消しゴムは怪物だ

狙われてしまったら終わり

ぼくはただ願う

怪物がこっちに来ませんように

大竹市立玖波中学校二年 門田 七海

現 代 詩 部 門

広島市長賞

夏

額の汗を拭いながら自転車を漕ぐ

髪が 風が

暑苦しく纏わりつく

ペダルを踏み込む足が重い

熱気を孕んだ視線も重い

目の前で色を変えた信号機に

内心悪態をつきながら

ただ 日に焦がされる

横を向いて 君に気づく

頬が 耳が

嫌でも赤く火照る

ハンドルを握る手が熱い

ピンっと反らした手が熱い

まだまだ色を変えない信号機に

県立広島皆実高等学校一年 成藤 万葉

内心感謝をしながら
ただ 君に焦がれる

「おはよう」

横を向いた 君が気づく

息が 声が

ほんの少しだけ震える

口の中が乾く

君と絡む視線が 止まる

もうとつくに青色に変わった信号機を

横目に見て

君と一緒に走り出す

この夏は君に浮かされる

広島市議会議長賞

とりもどす

熱い熱い
頭が熱い

何だか変

38度5分

やっぱりおかしいほくの体

これはきつと熱がある

のどが痛い 痛い 痛い

痛すぎて

水も飲めない

息もつらい

体もだるい 動けない

体のふしぶしが

ずきずきいたい

いたみがほくの体につきささる

スーパーマーケット

みんなの生活の場所

呉市立蒲刈小学校六年 重森 珀

みんなの 楽しみの場所

そこに そこに

一発のロケットだんが

つきささっていた

あそこには 何人の人の命と楽しみが

あそこには 何十何万の命の命と将来をつなぐ

食糧と夢や希望がつまった人生が

一しゅんにして失ったのだろう

ほくの体につきささった熱と痛みより

痛み以上の苦しみがある

ほくの体はほくの力で治せる

だから

ウクライナの平和は

ほくの力と

君の力と

みんなの力で

とりもどしたい

広島市教育委員会賞

SDGs

海の上で気持ちよさそうにただよう

ペットボトルに

ポテチのふくろ

そうざいの入れ物

カップラーメンの空き容器

どれもこれも

みんなが大好き

おかしや食べ物が入ってた

人がおいしく食べたその後

海の生き物にあげたのか

それとも容器が海へ旅に出たの？

海の生き物喜ばない

空き容器喜ばない

人がいやがることはダメ

お母さんは言うけれど

呉市立蒲刈小学校五年 石原 実織

もし
言ったら「ごめんなさい」と
あやまることって
教えられた
でも
人より長く生きる空き容器
いつになったらゆるしてもらえる
「ごめんなさい」

公益財団法人ひろしま文化振興財団理事長賞

命の値段

お店に並ぶ

精肉コーナーの品物

一つ一つ値段がある

そこで私は疑問に思った

人の命はどんな大金でも

払えないぐらいの

価値があると教わった

だがしかしながら

肉には値段がある

三〇〇円台やら五〇〇円台

たまにはタイムセールも

どんどん安くなる肉

人々にとっては大変得だ

でも一方食肉達の気持ちは

まだ死にたくない 長生きしたい

恐怖を抱えた中だったのに

僕達の命はたったの一〇〇円単位

福山市立幸千中学校二年 藤原 美緒

高い値段もあるけれど
僕らの命は値段のつけられる
価値なんだと
だから食肉に感謝するため
いただきます という言葉がある
皆さんしっかりと手を合わせ
感謝を伝えましょう

—いただきます—

空の気持ち

はれの日の空はおだやかな人のようだ
雨の日の空は悲しい人のようだ

くもりの日の空は人の心の迷いのようだ
かみなりは怒っている人のようだ

人間に感情があるように空にも感情がある
空はまるで百面相

大竹市立玖波中学校一年 藤原 来春

現 代 詩 部 門

曹達

ソーダを振った
フタを開けると
美しいほどの夏の思い出が
飛び出してきた
誰も知らない
儂いほどの思い出が
私の顔に飛び付いてきて
思わず笑ってしまった
何も知らずに
開けてしまった
無邪気な
十歳の夏

福山市立幸千中学校一年 稲屋 綺良

現 代 詩 部 門

いつも君と

呉市立蒲刈小学校五年 木村 圭介

目の前で見ると
大きくほくに、おそいかかる
長く生きて、
ほくに何かを教える
遠くにはなれていると
ざわざわ
バキバキ
風の強さで
ほくに何かを教えている
森の中の君は
どこにいるか分からない
みどりを光らせ
ほくに何かを教えている
ほくは、
いつも君を見ているよ

現 代 詩 部 門

れきし

呉市立蒲刈小学校六年 岩崎 花音

卑弥呼

聖徳太子

小野妹子

中大兄皇子

中臣鎌足

聖武天皇

……

日本を作った人

こんなにたくさんいるんだ

一人一人の名前と一つの偉業

どれもこれも日本を作った人

うん？

安倍晋三

元内閣総理大臣だった

悲しい事に亡くなってしまったけれど

国葬になる

うん!!

安倍さんは総理大臣の時

安倍さんだけで仕事した?

いえいえ

岸田さんも……

外務省につとめる人も総務省財務省

はたまた税金を納めた人も

みんなが助けたから

思い通りの政治ができた

「歴史上の人物の名前をしつかり覚えて」

って 先生は言うけれど

人物の名前の中に

その時代を生きたたきさんの人

たきさんの知恵をしぼって

助け合った結果が

人物の名前

時代を一生けん命生きた人々

ここにあり

痛いでしょ

福山市立城北中学校三年 渡壁 夏葵

哀しいでしょ 哀しいでしょ
自分の笑顔の裏に誰かの涙が隠れていて
涙を理解できないことが
どうしようもなく 苦しいでしょ

痛いでしょ 痛いでしょ
自分のやりたいことも
『○○たい ××たい ーーたい』
自分自身のことさえも
『私は ボクは ジブンハ』
何も分からなくなつて 怖いでしょ

寂しいでしょ 寂しいでしょ
暗闇にひとりでいるくらいなら
マリオネットでいるほうが
ずっと楽だと気付いてしまつて
こんな優しい歪さが

きつと
似合っているん
でしょ

僕が思う平和

県立西条特別支援学校高等部三年 久保 豪士

平和がなければ、
僕たち障害者は、
捨てられていたのかもしれない。
平和でなければ、
もつと格差が生まれていたのかもしれない。
平和とは、
お互いに話し合い、
納得するまで話し合った結果。
平和を表すのは、
単純なようで、複雑なのかもしれない。
平和とは、
一言では言い表せない。
十人いたら、十人の平和があるかもしれない。
平和とは、
はつきりと見えているようで、
実は、霧のようにおぼろげなのかもしれない。

現 代 詩 部 門

よくしゃべるおじさん

広島市立千田小学校三年 橋本 知春

熊野町きょう土館のおじさんは
よくしゃべる

はつきり伝わり よくしゃべる

せつめい長いが おもしろい

おじさんは やさしいよ

ふでを持たせてもらったよ

でっかい でっかい

おもいもの

一人じゃ持てない 重いふで

太いという字を 書きたいな

二階に行く時

気をつけてと 何回も言ってくれた

よくしゃべる やさしいおじさん

金いろのいすも 見せてくれた

めずらしく

家につながっているくらしも 見せてくれた

おみこしも 見せてくれた

よくしゃべるおじさんは

熊野を あいしているから

よくしゃべるんだなあ

さいごに のみものもらって

かえったよ

やさしくて よくしゃべるおじさん

これからも元気でいてください

また 行きます